

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和6年 3月 4日

事業所名:児童発達支援・放課後等デイサービスFURAN南柏教室

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点及び課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|----------------------|---|--|----|---------------|-----|---|
| 環境・ 体制 整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である | 3 | 5 | | プレイスペースがなく、児童の運動機能促進の為の活動 に限りがあるので、机上活動との時間を区別して1日の 流れを組み立てるようにしている。 |
| | ② | 職員の配置数は適切である | 4 | 3 | 1 | 職員数が児童の割合に対して多いように感じるが、その 場合は事務作業やレク準備、環境整備に努め、限られ た時間を有効活用するようにしている。 |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている | 4 | 3 | 1 | お手洗いや室内の段差は気にならないが、駐車スペース から上がる階段を利用する際は危険に感じる。その際 は必ず手を引く、職員間で声掛けをし、児童を安全に誘 導できるように配慮している。 |
| 業務 改善 | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している | 3 | 5 | | 児童各々に対してのカンファレンスを時間が取れるなら ば行ってもいいかと思うが、職員会議や、個々に疑問が あれば提議できる環境ではある為、解決、改善してより 良い療育の場にしていけるように努めたい。 |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている | 4 | 3 | 1 | イベント時(夏祭り)にアンケートは実施したが、どのよ うな解決策を見出せたかをまとめて保護者様にお伝えで けるとよりいいかと思う。 |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している | 3 | 2 | 3 | 今回が初回の為、どのような意見があり、解決策はある のか等、協議できる場があれば良いと思う。 |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている | 2 | 1 | 5 | 具体的な第三者の定義がわからず、評価をして頂ける 術があるのか知りたい。 |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している | | 6 | 2 | 内部研修があっても良いかと思うが、研修項目、資料作 成等に相当な時間を要すると思うので、外部研修や講義 に参加する機会があれば積極的に参加したい。 |
| 適切 な支 援の 提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している | 8 | | | |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している | 3 | 5 | | |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 6 | 1 | 1 | |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる | 8 | | | 何に対してのアプローチをするのか予め決めて活動を考 えていくのも良いかと思う。 |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している | 5 | 3 | | 休日、長期休暇等を意識して活動内容を考えているが、 具体的にどのような課題でやっていくのかは、児童個人 の設定か全体の設定かにもよると思うので、今後決めて いってもいいかと思う。 |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している | 7 | 1 | | |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している | 6 | 1 | 1 | 朝礼を取り入れたことにより、その日の子どもたちの体 調、保護者様からの連絡等を共有しており、1日の流れ がわかりやすくなったと感じる。 |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している | 1 | 5 | 2 | 職員会議や朝礼で報告を行っているが、支援内容につ いて具体的に話し合う為、時間が取れるならば朝礼時 間を増やし、前日の振り返りを細かくしてもいいかと思 う。 |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている | 4 | 4 | | 連絡帳での記録としているが、共有できていない部分も あるかと思うので、朝の時間に前日の連絡帳を読む時 間を設けるのもいいかと思う。 |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点及び課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|--------------------------|---|---|----|---------------|-----|---|
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 8 | | | |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている | 4 | 4 | | |
| | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 7 | 1 | | |
| | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている | 6 | 2 | | すべて情報共有できているわけではないが、送迎時などの調整は直接連絡し理解を得られるようにしている。 |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | | | | 対象外の為、未回答 |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 3 | 4 | 1 | 連絡を取り合えていない。 |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 1 | 4 | 3 | |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | | 4 | 4 | |
| | ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | | 2 | 6 | |
| | ㉗ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している | | 4 | 4 | |
| | ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 7 | 1 | | 毎日の連絡帳や、特別なことがあった場合は直接連絡して共有している。 |
| 保護者への説 | ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | | 2 | 6 | |
| | ㉚ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 5 | 3 | | 初めに説明し了解を得ている。 |
| | ㉛ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 8 | | | |
| | ㉜ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | 3 | 5 | まだ保護者同士の交流の場は作れていない。今後の課題とする。 |
| | ㉝ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 7 | 1 | | すぐに職員間で共有し、保護者様対応を行っている。 |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点及び課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|---------|----|--|----|---------------|-----|---|
| 明責任等 | ③④ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 8 | | | 毎月お便りを発行し、活動内容や行事予定をお知らせしている。 |
| | ③⑤ | 個人情報に十分注意している | 7 | 1 | | 個別資料は鍵のついたロッカーに保管している。 |
| | ③⑥ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 8 | | | |
| | ③⑦ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 1 | 2 | 5 | 地域との交流の機会がない。今後の課題とする。 |
| 非常時等の対応 | ③⑧ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 3 | 2 | 3 | 緊急時の連絡先作成、感染症罹患時の対応を作成し、保護者様と共有している。 |
| | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 8 | | | 火災、地震等に分けて毎月訓練を行い、その時の反省点を話し合い次回の訓練時につなげている。 |
| | ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 3 | 3 | 2 | 虐待防止委員会の発足、虐待防止研修を行うべき。 |
| | ④⑪ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 1 | 5 | 2 | 今後の課題とする。 |
| | ④⑫ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 3 | 3 | 2 | 保護者様からの報告に沿って対応している。 |
| | ④⑬ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 7 | 1 | | その場にいたものが資料を作成し、原因・今後の対応などを報告している。ヒヤリハット事例を取りこぼしの無いよう行っていきたいと考える。 |

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。